

参考：本書の作成経緯について

日本労働研究機構（労働政策研究・研修機構の前身）では、労働関係の情報を広く提供することを目的として、「加工指標開発に関する基礎研究委員会」（座長神戸大学大学院経済学研究科三谷直紀教授）を設置し、加工指標の提供に関する基礎的な研究を実施した（平成9年度）。そこでは、各方面へのヒアリングを行い、利用ニーズの高い指標を検討するとともに、政府の各種白書等をサーベイし、一般に広く提供すべきと考えられる加工指標を整理した。その結果を受け、提供すべきと判断された加工指標について実際の開発作業が行われ、利用者のニーズにあった加工指標の作成がなされてきた。本書は、以上の経緯を受け、従来以上にわかりやすく有益な情報提供を目指して、提供すべき加工指標の項目を検討・吟味し、作成したものである。

索引

[い]

引退年齢	242, 244, 259, 262, 270
引退年齢の国際比較	261

[か]

開業率	139
会社紹介転職者割合	123
過剰雇用	100, 104
課長	227, 231, 236
学歴別失業率	58

[き]

均衡失業率	81, 88, 239
勤続年数	129, 161, 202, 216, 243
勤労者生活指標	237

[け]

継続就業率	132
欠員	81, 88
欠員率	81, 88

[こ]

構造的・摩擦的失業	81, 88
呼称パート	33
雇用形態別失業率	55
雇用失業率	50, 53, 82, 88
雇用者の平均引退年齢	259
雇用人員判断 D.I.	105
雇用喪失	139, 141
雇用創出	139, 141
雇用調整	100

[さ]

産業間転出割合	117
産業別雇用失業率	50

[し]

資産格差	222
失業期間	60, 63, 75
失業継続期間	63, 294
失業指標	50, 60, 75
失業者世帯	93
失業世帯	95
失業の深刻度	70, 75
失業頻度	63
就業分野の性差指数	40
出向労働者比率	44
生涯所得	219
生涯時間当たり賃金	274
生涯賃金	219, 242, 274
生涯に関する指標	242
生涯労働時間	262, 270, 274
職業間転出割合	117
職業別雇用失業率	53
職階	227
所定内給与	26, 148, 161, 195, 244
所得格差	222
所得の不平等度	222
所得変動	212
新規開業による雇用増	144
事業主都合離職率	123
自己都合離職率	123
ジニ係数	222, 225

需要不足失業	81, 88
女性役職者割合	235
[そ]	
損失所得を考慮した完全失業者数	70
[た]	
退職	242
退職金	206, 209, 216
退職金減少率	216
退職金の学歴間格差	206
退職金の規模間格差	209
単身赴任割合	46
短時間労働者	33, 195
ダンカン指数	42
男女間賃金格差	199
[ち]	
中途採用者	202, 216, 219
長期失業指標	60
長期失業者割合	60
長期失業率	60
賃金格差	148, 161, 195, 202
賃金コスト指数	17
賃金変動 D.I.	212
[て]	
定着率	126
転出割合	117
転職希望率	114
転職による生涯所得減少率	219
転職による退職金減少率	216
転職による賃金変動 D.I.	212
転職率	107

ディビジア指数	28, 32, 283
ディビジア労働投入量	29, 281
ディフュージョン・インデックス (D.I.)	212
[と]	
倒産発生率	146
同一企業への定着率	126
同一コーホートの生涯労働時間	270
同一コーホートの入職率・継続就業率	132
[に]	
入職率	132
[は]	
廃業率	139
パートタイム労働者	33, 36, 195
パートタイム労働者の労働費用	36
パートタイム労働者比率	33
パート労働法	33
[ひ]	
標準労働者	242
[ふ]	
フロー確率行列	65, 285, 290
フローデータ	65
部下の数	231
部長	227, 231, 236
部長・課長比率	227
[へ]	
平均引退年齢	259, 272
平均勤続年数	135
[ま]	
摩擦的失業	81, 88
マンパワー	10

[み]	
ミスマッチ	81, 90
ミスマッチ指標	90
[ゆ]	
有配偶単身赴任者	46, 48
UV 曲線	84, 88
UV 分析	81, 88
U 1 ～ U 6	75, 79
[ら]	
ラスパイレス賃金指数	161
[り]	
離職率	123
流動化	83, 107
[れ]	
レイオフ	10
[ろ]	
労働移動関連指標	107
労働生産性指数	14
労働投入量指数	10
労働の質指標	26
労働の質を考慮した就業者数	28
労働費用	36
労働分配率	20, 23
労働力配分係数	120
ローレンツ曲線	222
[わ]	
ワークシェアリング	10